



SHIKAOI HIGH SCHOOL

The Sky is the Limit.



2025 SCHOOL GUIDE

ピシカチナイ山

ニベソツ山

ウベベサンケ山

西ヌブカウシヌプリ山

東ヌブカウシヌプリ山

然別湖

この写真は雪解けの進む3月下旬に撮影されました。
厳冬期はもっと真っ白。夏は一面の緑が広がります。

鹿追市街

体育館

鹿追高校校舎

テニスコート

陸上競技場

サッカー場

野球場

学校沿革

1950年 北海道清水高等学校鹿追分校として設置
1952年 北海道鹿追高校として独立

鹿追町は大雪山系の麓、十勝平野の北西部に位置しています。
「鹿追」の名はアイヌ語の「クテクウシ」（鹿を獲る仕掛けの多くあるところ）に由来します。
内陸性気候で年平均気温は7.7度。
最高気温は30度以上、最低気温は零下20度くらいです。
酪農、畑作を中心とした地区で、人口約4900人、牛の数は約3万頭です。
家畜ふん尿由来のバイオガスプラントを用いた発電などで、2050年にCO₂（二酸化炭素）を
実質ゼロにする「鹿追型ゼロカーボンシティ」を目指しています。

海外姉妹都市



カナダ・ストニープレイン町
1985年に姉妹都市提携を締結。町同士の交流が深まる中、1996年からは鹿追高校生の学年全員がカナダに短期留学する交流が続いています。





鹿高を知るキーワード

Shikako Keywords

- P6** 特別進学コース
難関大学進学を目指す
- P6** 国際探究コース
地元や世界の課題を探究
- P8** メタバース塾
SOC ネット上の塾って何？
- P9** ペンギンコロニー
北海道にペンギン！？
- P10** カナダ留学
学年全員が行く伝統プログラム
- P10** 世界へはばたけ
英語は世界へはばたくための翼



- P12** 探究授業
普通の授業と何が違う？
- P12** 鹿追創生プロジェクト
持続可能な社会作りの一員たれ
- P12** プロボノメンター
先生だけが先生じゃない！
- P12** SIP (鹿追イノベーション学)
学校を飛び出しアクションを起せ！
- P14** 身体性
AI にできないことをやろう
- P16** 兼部できる部活
2つやってもいいじゃない！
- P12** esports 部
生徒の要望が部活を作った
- P18** ペンギンハウス
仲間と暮らす自立型シェアハウス
- P18** ペンギンドミトリー
2025年4月に新寮完成

The Power of Diversity

多様性は力だ

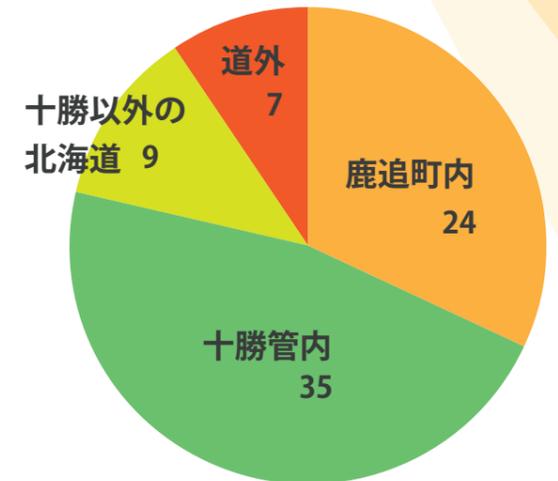
多様な入学者

「多様性を認める社会」の大切さが叫ばれています。鹿追高校は小さな学校ですが、生徒の出身地や進路は多様です。

2023年度から「地域みらい留学」の仕組みを取り入れ、十勝や北海道以外の地域からの出願に門戸を開きました。2024年度は道外から7名の生徒が入学しました。

地元出身の生徒にとっても、日本各地や世界から来た人たちが周りにいることはとても刺激になります。お互いに刺激を受けながら成長できる環境が作られています。「均質ではない」ことの価値がここにあります。

2024年度入学者



- 道外内訳** 青森、群馬、埼玉、長野、岐阜、千葉、シンガポール 各1
- 十勝以外内訳** 札幌6、旭川、千歳、占冠 各1

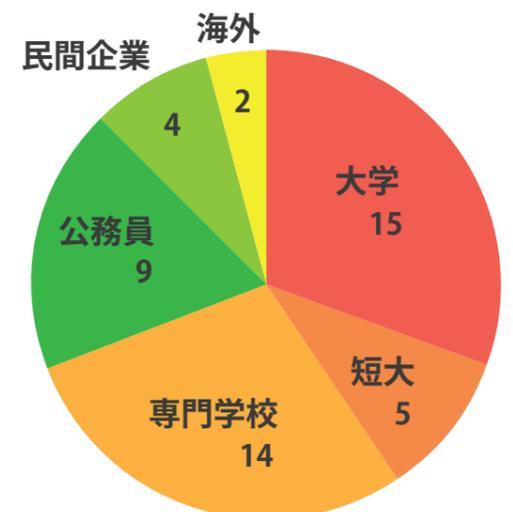
地域みらい留学

高校進学 3years

卒業後の進路も多様

鹿追高校は「進路多様校」です。受験勉強をがんばる人もいれば、就職に向けて準備する人もいます。それぞれの分野で、それぞれのペースで進路を考えましょう。進む道は一つではありません。自分の将来を考え、自分に合った道を選んで下さい。あなたの夢の実現を応援します。

2023年度卒業生



SHIKAOI HIGH SCHOOL

個々の学びに合ったコース選択で あなたの夢を応援します!



特別進学コース

国際探究コース

発展レベルで理数も強く

難関大学や国公立大学を視野に入れて力を引き出す。

- 弱点克服から応用・発展までの学び
- 多くの実績を生み出した信頼の指導体制
- 物理、数学III+Cも当然学べる
- 授業と連動した特別講習や個別指導充実
- スタディサプリ導入で受験する力を強化

英語・探究の軸で多彩に

地元の課題を解決し、世界の課題を探究する。

- 本校独自の「鹿追イノベーション学」で探究的な学びを実践
- 習熟度で基礎からしっかり学べる授業
- 少人数での授業で手厚いサポート
- 探究的な学びのプロセスを習得
- 全教科で、自ら探究する活動を導入
- 「探究Labo」でマイプロジェクト

特別進学コースで選べる進路例

- 工学系
- 医療系
- 看護系
- 国際系
- 経営系
- 教育系

カリキュラムの二つの柱

全ての教科で探究的な学び



英語
探究

ディスカッション → まとめ → 発表・質疑応答

それぞれのコース 実際にどうなの？

聞いてみました



特別進学コース

2年生の特別進学コースでは、「化学」と「時事問題研究」の2つの授業から自分の進路に合った授業を選べます。私は志望校に合わせて化学を勉強しています。化学を履修しているのは5人しかいないため、サクサク授業が進んだり、生徒同士でわからないところを教えあえる少人数ならではの良さがあります。



このコースは主に大学進学を目指す人たちで構成されています。理系科目は化学の他に物理が生物を進路に合わせて履修します。理系は勉強することが多く、正直授業についていけないときもありますが、先生方は優しくサポートしてくれますし、SOCのチューターさんにも勉強を教えてもらえるので、安心して受験に挑むことができます。



特進コースでは3年生になると副教科が体育のみになりますが、その分受験に必要な勉強を多くの時間をかけて行うことができます。特に選択科目はいつもより少人数となるので、より強い意識を持って仲間たちと勉強に臨めます。難しく感じる教科もありますが、先生方に相談すれば手厚く教えてもらい、理解へとつなげることができます。



主な大学合格実績

2024年3月卒業生

同志社大学 弘前大学 國學院大学 北九州市立大学 獨協大学 札幌市立大学 専修大学 神田外語大学 釧路公立大学 北海学園大学 など

過去6年間

埼玉大学 北海道教育大学 室蘭工業大学 富山大学 はこだて未来大学 札幌市立大学 都留文科大学 新潟大学 北海道医療大学 横浜薬科大学 関東学院大学 国士舘大学 酪農学園大学 日本大学 立命館アジア太平洋大学 など

国際探究コース

1年生の時に鹿追創生プロジェクトの活動で、国際交流について探究活動をしており、然別湖コタンというイベントに来た海外のお客様に英語で案内ボランティアをしました。プロボノメンターの方々の支えもあり、イベントを無事終えることが出来ました。2年生からは国際探究コースで新しい探究活動に取り組んでいます。



私は1年生の頃から探究活動に力を入れており、このコースを選択しました。町のメインストリートのアートロードにもっとアートを増やしたい!という思いから、チョコレートイベントを2年連続で実施し、地域の方々に参加してもらいました。今後もアートデザインに着目した探究活動を続けていきます。



国際探究コースは、少人数での授業なので、先生との距離が近く、より深い学びができています。また、鹿追町から無償貸与されているiPadを活用したプレゼンの授業や、ペアワーク・グループワークなどの先生の話聞くだけではない授業が多く、楽しく学んでいます。



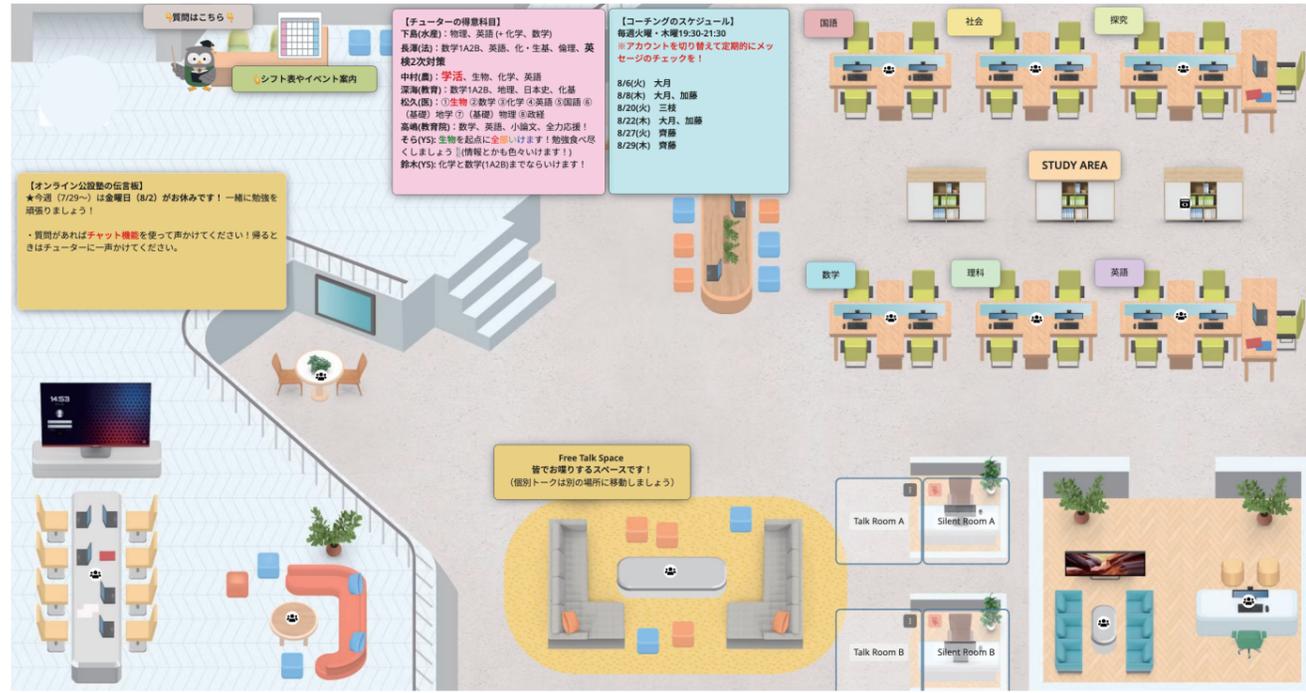
国際探究コースで選べる進路例



SOC Shikaoi Online Commons

メタバース上のオンラインの学び場

2021年に始まったオンラインだけの公設塾。チューター（家庭教師）は大学の先生や難関大学の学生さんで計14人。平日19:30から21:30まで、あなただけに合ったコーチング、ティーチングをしてくれます。月謝は無料です。



学校でもない、家でもない、サードプレイスとしての学び空間

「ペンギンコロニー」はリアルな学び場

町の中心部、町民ホール2階にある「ペンギンコロニー」は公設塾生専用の学び場です。平日放課後から21:30、土日も朝から21:30まで活用できます。Wi-Fiが完備され時間内はいつでも無料で使えます。



中3からオンラインで学ぶ 英語を軸とした早期育成体制



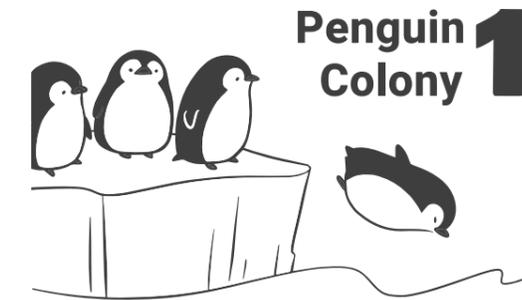
オンライン公設塾はoViceというシステムを使ったヴァーチャル空間です。参加者はアバターになってこの仮想の教室に入ります。アバターを動かして誰かに近づくと話ができるようになります。一人で勉強したいときには、サイレントルームで待機できます。時間内であれば必ずチューターが待機しているので、いつでも質問することができます。



SOCは学生が質問したことをチューターの方たちが丁寧に教えてくれたり、チューターの方たちに悩みを相談したりできる場所として提供されています。これからも、このSOCを有効活用して希望の大学を目指していきたいと思います。

SOCの責任者である高嶋先生を除き、チューターはすべて現役の大学生・大学院生です。とはいえ、数年前までは高校生だった先輩たち。勉強のみならず、先生や親には聞きづらい、言いづらいことも引き受けますよ!

チューターへの質問は、テキストチャット、ボイスチャット、ビデオチャットですることができます。画面の共有もできるので、質問がある宿題等があれば、事前にデジタルデータとして用意しておくともよいでしょう。チューターと話さなくても、友達と話したり、ひとりであるのも自由です。本当の自習室のように、気軽に使ってください。



ファーストペンギン

自然界、ペンギンたちは食べ物が無くなると新しい場所を求めて移動しなくてはなりません。でも、まだ見ぬところへの移動は勇気がいるもの。

慣れ親しんだ場所から離れようとしないうペンギン達の中から、「とにかく行ってみよう」という勇気ある最初の一羽が現れます。これがファーストペンギンです。

厳しい自然の世界では、失敗して帰ってこれないこともあるかもしれません。しかし人間の世界では、ちょっと違います。ファーストペンギンをみんなが支えて応援します。失敗しても再び暖かく迎えます。みんながファーストペンギンになる必要はありません。

鹿追高校は何度でも失敗し、チャレンジできる場所です。あなたの本気の挑戦を応援し、しっかりとしたセーフティネットをサポートします。そんな思いから、この場所は名付けられました。



ペンギンコロニーは身近で気軽に通える場所です。静かに勉強する生徒もいれば、相談しながら勉強する生徒もおり、様々です。また、飲食が許可されているので、休憩の際には軽食をとる人もいて、自由な空間となっています。また、SOCではオンライン上で色々な大学生にアドバイスをもらいながら勉強できるので、とても便利です。

鹿高のカナダプログラム & 英語プログラム



国際共通語としての英語は本校の重点ポイントです。カナダに行くという実践的な目標があるから勉強の意欲がわきます。生徒一人ひとりが「親善大使」として、カナダと日本の国際交流に役割を果たします。鹿高の英語は本気なんです。



「カナダ研究」の授業で事前のリサーチ。サポートはカナダ人の先生。

Stony Plain, Alberta, CANADA



出会いがあり

鹿追町は、カナダ・アルバータ州ストニブレイン町と1985年8月に姉妹提携を締結し、それ以後、交換留学生の派遣や受け入れを行っています。

1996年から人材の育成と両国の文化・歴史を学び国際理解教育を推進するため、鹿追高校2年生全員*1がカナダに短期留学しています。

全員が約2週間、ストニブレイン町でホームステイをしながら、地元の感謝祭に参加したり、地元の高校を訪問し、交流を深めます。

★2年生の10月の2週間、カナダのストニブレイン町に滞在します。

★実際に本物に触れることで、英語を学ぶ意味が体感でき、その後の学習が変わります。

*1 基本的に希望者全員が参加できます。ただし成績等の諸条件もあります。



ストニブレイン町のメモリアル・コンポジット高校を訪問します。



留学の自己負担額は2万8000円*2です。留学費用のほぼ全額を町が負担します。

*2 2024年度の実績です。バスポート取得費用、旅行保険料、Wi-Fi 契約料、お小遣い等は別になります。



私は全員で行くカナダ短期留学以外にも、北海道教育委員会が実施しているカナダ・アルバータ州での交換留学事業に参加しました。英語を学びたい生徒が海外留学に行ける体制や、海外からの交換留学生を受け入れられる体制が備わっていることも鹿追高校のいいところだと思います。そして、その後3度目の短期留学に個人で行くことも決まりました。

2023年度、英検準1級を2名が獲得1年1回、受験料を助成

* 受験料補助はSOC(オンラインの学びの場 p.8 参照)に登録する必要があります。

英語は世界へはばたくための翼なんだ!



英語は要するに、どのくらいの話で語れるか。授業では数と量と質をしっかりと確保します。

★特別進学コースでの目標は、社会的な事柄について論理的に表現できること。理論(文法)や知識(語彙・表現)を大学受験レベルまで引き上げ、問題解答の時間も拡大し、「解ける」から「使える」まで引き上げます。

★国際探究コースは、全授業で展開するスモールトークと音読を積み重ね、様々な英文コンテンツに多く触れるインプットと自分の意見を伝えるアウトプットを交互に行い英語でのコミュニケーション能力を高めます。

別れがあり

そして、地球の裏側にふるさとがひとつ増える

2週間の滞在中は、カナダのホストファミリーの家庭に分散して滞在します。共に過ごした時間は双方にとって貴重な体験となります。次の再会を約束し、お別れのパーティーはいつまでも名残り惜しいものになります。



カナダだけじゃない。

世界へはばたけ、鹿高生!

どうやって在学中に海外に行ったの?



私は前年度「グローバルユース国連大使」活動に参加していた先輩の話聞き、自分も参加してみたいと興味を持ちました。世界の問題を実際に見て学び、日本との違いや戦争の残酷さを実感した経験は、日本には得られないものだったと思います。また、英語の授業やカナダ研究の授業での実践的な英会話練習のおかげもあり、実際に現地の学生と話す際も緊張なく話すことができましたので、とても有意義な活動になりました。

グローバルユース国連大使に3年連続選出!



カンボジア派遣



カンボジア
フィリピン派遣

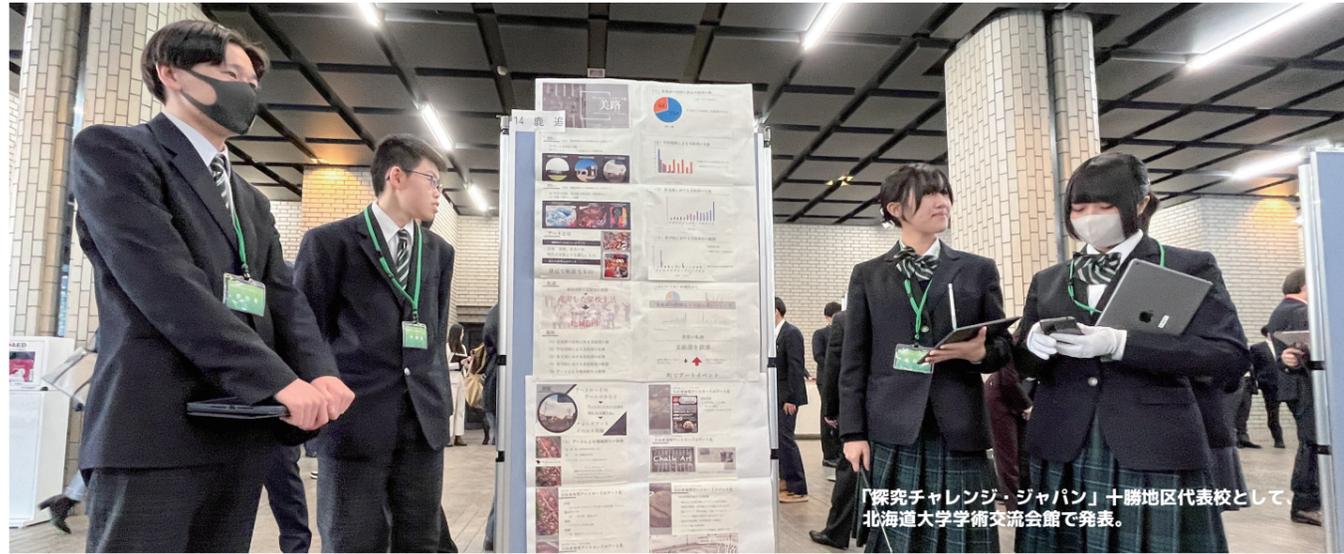
JCI JAPAN グローバルユース国連大使に、本校から3年連続選ばれました。このプログラムは全国の中1から高2までの20名が公募選抜で選ばれ、オンラインや国内、海外で研修し、世界の抱える問題について学びながら、海外の若者たちと英語でディスカッションするJCI(日本青年会議所)の若者育成プログラムです。



NZ

海外とオンラインで結び、特進クラスの英語の授業。ランゲージパートナーとして時差の少ないニュージーランドの高校の協力を得て、2023年から実現しました。ICTを積極的に利用した英語教育に取り組んでいます。

鹿高といえば探究です。



アウトプットを重視してプレゼン能力を育成
最終目的は「発表」ではなく「動きを生み出す」こと



商品開発

廃棄されるホエイ（乳清）や規格外ジャガイモを使った商品開発を企業と共同で取り組み、「無印良品」の「札幌バルコつながり」に出店しました。



アイデアは生徒たちが企画書にして関係者に提出しました。



食品ロスってもったいないよね？
どうにかして使えないの？



プレゼン&交渉

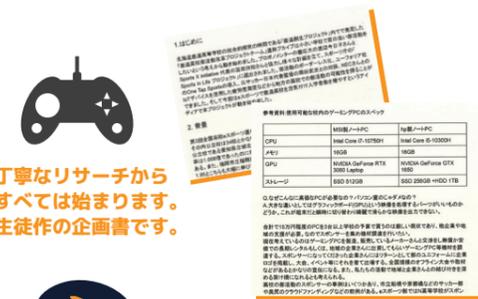


アイデア



esports

新しい部活「esports部」は生徒の発案から生まれました。なければ作る。自分たちでリサーチをして関係者に説明し、新しい動きが生まれました。



丁寧なリサーチから
すべては始まります。
生徒作の企画書です。



esportsだって
スポーツだよ？
世界的にも認めら
れているし。

鹿追創生プロジェクト

鹿追町を舞台とした課題解決のPBL*で 学びのレベルが格段に上がる

プレゼンや資料作成のスキルを前段階として、
いかに人に働きかけ協働するかを重視する鹿高プレゼンメソッド。

鹿追町の様々な課題の中から1つを選択します。その課題を解決するために、状況を分析し、仮説を立て、具体的な解決策を生み出し、行動します。一人ひとりが「自分ごと」として考えることで、①何をやりたい(Will) ②何ができる(Can) ③何をやるべき(Must)が明確になります。また、地域や企業と連携することで激動の現代社会を知ることができ、柔軟な考え方やコミュニケーション能力を身につけます。

*PBLとはProject Based Learningの略でプロジェクト型学習のことです。



私は、1年生の頃から鹿追創生プロジェクト(SIP)で国際交流についての活動をしています。鹿追町では、海外の方との交流が少ないことが課題だと考えたので、鹿追高校グラウンドでライブインシアターを実施し、海外の方と交流することを計画しています。計画にあたっては、本校のプロボノメンターである鹿追町役場の迫田さんや町民のみなさんにアドバイスをたくさんいただきました。自分のやりたいことを、周りの人たちがとても後押ししてくれるので、探究活動を頑張ることができます。また、SIPでは色々な人と関わりを持ち、人を知ることができるので、自分の将来にも活かせると思います。

業界のプロフェッショナル(プロボノメンター)が課題解決をバックアップ

プロボノとは「公共の利益のために」というラテン語で、自分の専門知識を社会のために役立てることで、地域や全国のプロフェッショナルたちが、鹿高生のためにアドバイスを与えてくれます。「先生」は学校の外にもいるのです。

学びを深めるための「プレゼン」です

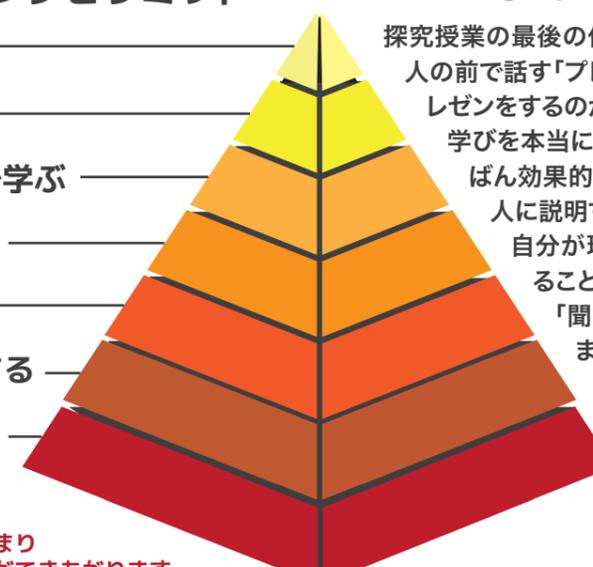
いちばん学びが身につくのは人に教えること

定着度 ラーニングピラミッド

- 5% 聞く
- 10% 読む
- 20% 視覚教材で学ぶ
- 30% 実演を見る
- 50% 話し合う
- 75% 自ら体験する
- 90% 人に教える

Learning Pyramid

探究授業の最後の仕上げは、自分のやったことを人の前で話す「プレゼン」です。単にカッコいいプレゼンをするのが目的ではありません。学びを本当に自分のものにするために、いちばん効果的な方法が、自分のやったことを人に説明することです。自分が理解していないと、人に説明することはできません。「聞いただけ」ではすぐに忘れてしまいます。だから従来のような、先生が話して生徒は聞く、というスタイルだけでは限界があります。このピラミッドは下の方に行くほど理解が深まるのです。



人に教えることで理解が深まり
しっかりとした知識の基礎ができあがります。

AIはザリガニを食べない

AIの時代にこそ「身体性」を大切に

鹿追高校はICT教育に力を入れていますが、一方、自分が体や感覚を使って体験することも重要と考えています。AIが全盛の時代ですが、そんな時代だからこそ、AIのできないことを体験したいものですね。そんな授業の一端や学校での試みをご紹介します。よろしくお願いします。



理科のフィールドワークで然別湖(しかりべつこ)に行ってきました。この湖は北海道でいちばん標高の高いところにある湖です。大雪山国立公園の中であって、すばらしい景観です。さすがに標高が高い(810m)だけあって、7月中旬、真夏の日差しは強かったのですが風は涼しく、気温も低め。気持ちよし!

もちろん、鹿追ジオパークの中にあります。なんとって、鹿追町全体がジオパークになってますので。近くには天然記念物のナキウサギもいます。

でも今日はナキウサギじゃなくて、目指すはウチダザリガニです。これは北米原産の外来種で、日本のいたるところで繁殖し、在来種を駆逐しまくっています。然別湖も例外ではなく、先住していた日本ザリガニは駆逐され、貴重な水草はこいつのハサミでちょきちょき切られ、オショロコマ、ミヤベイワナという貴重な魚に影響を与えています。とにかく繁殖力がものすごいので、侵略的外来種ワーストリストの中に登録されています。

従来の生態系を守るため、ウチダザリガニの駆除が鹿追町によって行われています。ということで、そんなお話を町のスタッフの方に聞きながら、授業では駆除作業を手伝って学ぼう、という訳です。そして、最後にはこのウチダザリガニを食べよう!というプログラムです。

学校からバスで約30分、然別湖のほとりに到着。事前に岸辺にいくつか仕掛けてあったカゴをチェック!ウチダザリガニ、うじゃうじゃ入っておりました。

さて、次は捕獲した個体の計測。オスメスの区別です。



計測するためには当然ザリガニをつかまなくては行けないのですが、ここからが一騒動ですね。生徒がキャーキャー言うのもよく分かります。女子の方が臆する事なく触っている印象あり。男子は「ギャー」とか「ダメダメ」とか言ってる人多し。まあだんだんと慣れてくるようで、最後はみんな手早く計測できるようになっておりました。

さて、計測終了。

近くでは、ガスコンロの上で、大きな鍋にお湯がぐつぐつ煮立っています。

そうです。ザリガニ君たちをここに入れるのです。

みなさん、思い思いの個体を持って、鍋の周りに集合。

「うわ〜、なんかかわいそう」という声もありましたが、けっこう躊躇なく、ポチャン、ポチャンと煮えたぎる鍋の中にザリガニが放り込まれます。

あつというまに、どす黒かった色がきれいな赤色に変わります。

最後は、バケツからドバッとザリガニ投入。ゆで上がるま

AIは便利だ。でも、それだけに頼るのはどうかな。

生身の人間だからこそできること、も大切にしたい。

で15分の休憩タイム。観光客の方も多い場所なので、何やってるのかな?という視線を感じながらゆで上がるのを待ちます。

15分後に集合。茹でウチダザリガニの完成です。

バリバリとお腹から開いて身を取り出します。カニを食べる気分ですね。

「あ、おいしい!」「エビよりいいかも」

このウチダザリガニ、北海道では1930年に摩周湖に食用として入れられたのが、始まりなんだそうです。

それがどういう訳か(人間が持ち込んだに決まっていますが)、然別湖にも入りこみました。侵略的外来種と言ったって、最初は自分たちが持ってきたものなのですね。

スタッフの方のお話では、このような駆除を頻繁に行っているのですが、繁殖力が旺盛なためほぼ「焼け石に水」状態だそうです。恐るべし、ウチダザリガニ。

かといって放っておくとどうなるのか?

「もっともっと増えますね。湖じゅうウチダザリガニがうじゃうじゃ、という感じになります」

さあ生徒たちは何を学んだでしょうか。

「侵略的外来種」「環境保護」なんていう言葉は教科書にも載っているでしょう。

ウチダザリガニの駆除方法についてAIに聞いてみました。「捕獲トラップの設置、物理的な取り除き、天敵の導入、環境調整……」といったことができますよ、と教えてくれて最後に「これらの方法を組み合わせると、継続的にウチダザリガニの駆除活動を行うことが効果的です」なんだそうです。まあ、そうですね。こういう答えならすぐにAIが出してくれる時代です。それを踏まえて「じゃあ、然別湖でどうする?」と自分で考えないといけません。そのためには自分の目で現場を見て、体験することが重要です。

AIはいっしょに湖に行ったり、ザリガニ食べたりしませんよ。ウチダザリガニの手触り、重さ、匂い、鍋に入れる前の命の



もがき、食べたときの食感、しっかりした味。これは教室で教科書を読んでいただけでは絶対経験できません。

生徒の記憶の深いところに、ウチダザリガニはしっかり住み着いたことでしょう。少なくとも何かが「わかった」はずですよ。

さあ、またウチダザリガニを食べに、いや獲りに行こう!

AIはランチに付き合わない

毎週1回、英語ランチ会が自由参加で開かれています。英語の先生、ALTの外国人講師、ときにはカナダからのお客さんも交えて、一緒にランチを食べます。ルールは一つ。このランチ会ではすべて英語で話すこと。読み書きだけでなく、実際のコミュニケーションで使える英語を習得するのに重きを置いているのが、本校の英語教育の特長です。教科書だけでは学べない、実践的な「何が起るかわからない」状況で、英語を使って自分の考えをどこまで表現できるか。やっぱり人間相手が重要なのです。



AIはソバが打てない

ソバの日本一の産地にある幌加内高校生時代、「全国高校生そば打ち選手権大会」で優勝した経験を持つ石川朋佳さんを講師に招き、鹿追産のソバ粉を使って、ソバ打ちを体験しました。現在石川さんは大学卒業後、ソバを使った地域おこしの会社を起業。打つだけでなく、キャリア設計の話もしていただきました。もちろんソバは美味しくいただきました。実際にそば粉をこねる時の手の感触、できたソバを伸ばして包丁で切る体験、おそらく体が覚えたことでしょう。



兼部可能な部活動



陸上競技部

全道大会やインターハイ出場に向けて練習に励んでいます。2024年度も全道大会に出場することができました。ぜひ私たちと一緒に練習しませんか。



バスケットボール部

個性豊かな仲間たちがいて、みんなそれぞれ目標に向かって取り組んでいます。興味がある人はぜひ一緒にバスケットしましょう！初心者の方も大歓迎です！



バドミントン部

未経験者も多いですが、大会で1回でも多く勝利できるように日々切磋琢磨しています。不定期ですが、外部からの指導者も来てくれるので、アドバイスをいただきながら練習しています。



野球部

個々のプレイヤーがチームのために日々練習しています。地域の学校と連合チームを組み、合同で練習したり、大会に出場しています。



ソフトテニス部

大会に向けて楽しく活動しています。本校にはきれいなクレイコートも完備されており、近隣の中学校と合同で練習することもあります。



サッカー部

私たちは元サッカー日本代表監督の岡田武史さんのメソッドを活用しています。本校のサッカー場は天然芝なので、とてもいい環境でサッカーができています。



吹奏楽部

学校行事や演奏会に向けて、日々楽しく活動しています。部員たちの仲がとても良く、みんな明るくにぎやかな部活です！演奏する場で最大限良いパフォーマンスができるよう頑張っています。



「なぜ一つの部活にしか入れないの?」

文化系の部活にも、運動系の部活にも入りたい！かけもちをしたい！
「海外では、学校の課外活動の一つに限定されることはあまりない」—これは、本校の生徒が探究の授業で見つけた事実です。これをもとに本校では、複数の部活に所属して活動できる部活のボーダレス化が実現しました。その道のエキスパートとの交流などが多くあり、充実した新しい部活動のあり方を実践しています。いちばん新しい部活は「esports部」。生徒の要望を受け、同好会から活動を始め、生徒総会で部に昇格しました。



写真部

放課後や休日に学校内や鹿追町の神社や、動物園などで撮影を行っています。撮影した写真は大会に出展しています。また、学校行事では生徒の写真を撮影することもあります。



演劇部

7名で活動しています。兼部をしている人も多く、兼部先での活動が演劇の表現に活かされていると実感しています。2022年度は鹿追町を舞台とした映画にも出演しました！



書道部

ほとんどの人が未経験者ですが、今年度からは外部講師の先生に指導していただきながら活動しています。日本文化を学ぶので、将来海外に行きたいと思っている人にもおすすめの部活です。



茶道部

外部講師の方のご指導を受けながら、茶道の基本所作やお点前を勉強しています。地元のイベントにも参加し、青空の下で野点を行い、多くの人にお茶とお菓子を振る舞うことができました。



esports部

先輩方の思いから作られ、昨年度同好会から昇格した新しい部活です。主な活動内容は様々なゲーム大会への参加や、学校祭でのゲーム大会の運営です。部員みんなで楽しく活動しています。



ボランティア同好会

校内のペットボトルキャップとわりばしを回収して、きれいに洗い、リサイクル資源とする活動を行っています。地域のイベントである「ここから実験室」などのお手伝いもしています。



弁論同好会

夏休み明けにある大会に向けて、原稿作りやスピーチの練習などの活動をしています。あなたの伝えたいことを、あなたの思いを、弁論同好会で主張しましょう！





手厚い鹿追町からのサポート Financial Aid

入学準備金

- 鹿追高等学校に入学し、かつ入学年度の5月末日まで在籍した生徒の保護者が対象。
- 鹿追町内の中学校を卒業した生徒の家庭は生徒1人につき10万円。
- 鹿追町外の中学校を卒業した生徒の家庭は生徒1人につき5万円。

カナダ短期留学に対する助成

- 鹿追町のカナダ短期留学プログラムに参加する鹿追高校生の渡航滞在費用を助成。
- ※保護者負担額は2万円。その他の負担額8,000円。保護者の実質負担額は28,000円です。
- ※パスポート取得に関する費用等は実費負担となります。

見学旅行助成金

- 鹿追高等学校に在籍し、見学旅行に参加した生徒の保護者を対象に、生徒1人につき3万円を助成。

通学費助成金

- 1学年及び2学年の生徒は12か月分、3学年の生徒は10か月分を助成。
- 公共交通機関利用者は通学定期券の全額を助成。
- 自家用車で送迎の場合、距離に応じて月額4千円～1万円を助成。

生徒下宿等の費用に対する助成金

- 遠距離等の理由により自宅からの通学が困難なため、下宿等から鹿追高校に通学する生徒の保護者へ助成。
- 下宿等の費用のうち毎月の自己負担額が35,000円を超える差額とします。助成の上限額は35,000円。

寮があります

- 寮タイプの Penguin Dormitory 40室、現女子寮「福世館」5室
- シェアハウスタイプの Penguin House 12室
- すべて個室で、Wi-Fiも完備されています。日曜を除く毎日、朝夕食が付いています。寮費の自己負担額は月額35,000円です。
- ※寮の新設や物価高の影響により寮費が変更になる場合があります。最新の情報は必ずウェブサイトでご確認ください。
- 入寮は公共交通機関で通えない生徒が優先となります。
- 費用は自己負担額35,000円です。



新寮2025.4完成予定



現女子寮

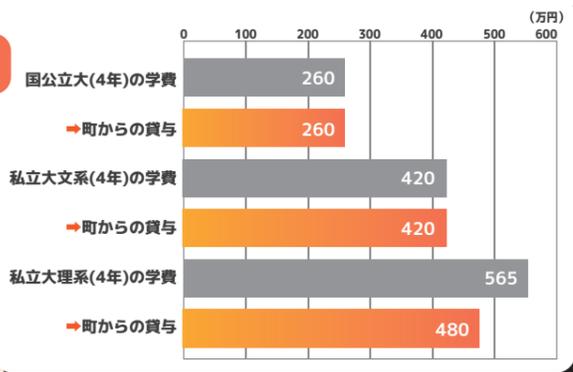
シェアハウス

実用英語検定費用の助成

- SOC（オンラインの学び場）に加入している生徒は、年に1回、実用英語検定の受験料を助成。

大学等進学に最大月10万円の無利子貸付

- 通常、大学の4年間の費用は500万円を超えます。しかし、鹿追町では最大で毎月10万円を無利子で貸与します。対象となるのは鹿追高校を卒業した生徒で、貸付期間は正規の大学、短大、専門学校等の修業年限以内で、毎月の授業料相当分が対象額となります。
- その他詳細に関しては、鹿追町教育委員会学校教育課(0156-66-2646)にお問い合わせください。



鹿追高校の1年 Shikako Year Round

- 4 入学式・前期始業式、前期(4~9月)スタート
新入生歓迎会・ウェルカムアクション
HR役員選挙・委員会活動等(前期)、部活動、FIP(自由探究)、特別講習、SOC(オンラインの学び場)入会手続き、ペンギンコロニーの活用など
生徒総会
- 5 宿泊研修(1年)
高体連壮行会
高体連の各種大会(高校集大成の試合)
- 6 完歩大会
鹿追創生プロジェクトスタート
高体連表彰式
全道大会・高野連夏季大会壮行会
ホースライディング授業
- 7 鹿高祭
カナダからの留学生との交流イベント
夏休み前集会・表彰式
夏休み(約30日間)
※特別講習、受験・資格勉強、部活動、FIP、各種合宿、研修、ボランティア参加
- 8 高文連の各種大会(高校集大成の大会)
生徒会役員選挙・新生徒会体制のスタート
- 9 高体連・高野連で新人戦スタート
前期の終業式・高文連表彰式
- 10 カナダ短期留学(2年)
後期始業式・後期(10~3月)スタート
HR役員選挙・委員会活動等(後期)スタート
インターンシップ(1年)、生徒総会
- 11 鹿追創生プロジェクト中間発表
- 12 見学旅行(2年)
球技大会
北海道教育大学釧路校とコラボしたウインターコンサート
冬休み(約20日間)
※大学共通テスト対策講習、特別講習、受験・資格勉強、部活動、FIP、各種合宿、研修、ボランティア参加
- 1 スキー・スノーボード授業(1、2年)
- 2 スキー・スノーボード授業(1、2年)
- 3 卒業式、後期終業式・表彰式
春休み(約2週間)
※春期講習、受験・資格勉強、部活動、FIP、各種合宿、研修、ボランティア参加



ウェルカムアクション



完歩大会



ホースライディング授業



鹿高祭



カナダ短期留学



鹿追創生プロジェクト最終発表



スキー・スノーボード授業

バスルートは4本。多方面から通学可能。



◎ 帯広市の中央地区、南地区、幕別町にお住いの皆さん

★ルート1 (拓殖バス) 帯広駅からのバスをご利用ください。
帯広駅 → 音更町 → 鹿追高校

所要時間 60分

◎ 西帯広にお住いの皆さん

★ルート2 (鹿追ハイヤー) 西帯広駅からのバスをご利用ください。
西帯広駅 → 柏林台駅 (びあぞフクハラ西18条店) → 鹿追高校

所要時間 50分

◎ 芽室町、清水町にお住いの皆さん

★ルート3 (鹿追ハイヤー) 東めむろ発のバスをご利用ください。
東めむろ (カレーショップインディアン芽室店) → 芽室駅 →
御影 → 清水 → 鹿追高校

所要時間 50分

◎ 新得町にお住いの皆さん

★ルート4 (拓殖バス) 新得駅からのバスをご利用ください。
新得駅 → 屈足地区 → 鹿追高校

所要時間 25分

令和7年度 北海道鹿追高等学校 入学者選抜概要 (予定)

※入学者選抜の詳細に関しては必ずお問い合わせください。

[連携型入学者選抜]

1. 「中高一貫教育による学習のまとめ」の提出
2. 個人面接(「中高一貫教育による学習のまとめ」の発表と英語による問答を含む)
3. 英語の聞き取りテスト

[推薦入学者選抜]

1. 自己推薦書の提出
2. 個人面接(英語による問答を含む)
3. 英語の聞き取りテスト

[一般入学者選抜]

1. 学力検査(国語・数学・社会・理科・英語)
2. 個人面接

[本校の求める生徒像]

学習に意欲的に取り組んでおり、次のいずれかに該当する生徒

1. 本校の国際理解教育を理解し、積極的に国際交流・国際理解に取り組む意欲のある生徒
2. 本校の探究活動を通して主体的に課題解決に取り組む意欲のある生徒



北海道鹿追高等学校



〒081-0213 北海道河東郡鹿追町西町1丁目8番地

TEL (0156)66-3011 FAX (0156)66-3012 E-mail: shikaoui-z0@hokkaido-c.ed.jp